

京柔整会報

機関誌 137号



巻頭言

「もっとAggressive（積極的）に」

柴田 宗宣 副会長

特集1

大西 辰博 名誉会長の功績

特集2

林 啓史 副会長に聞く 「3つのビジョンについて」

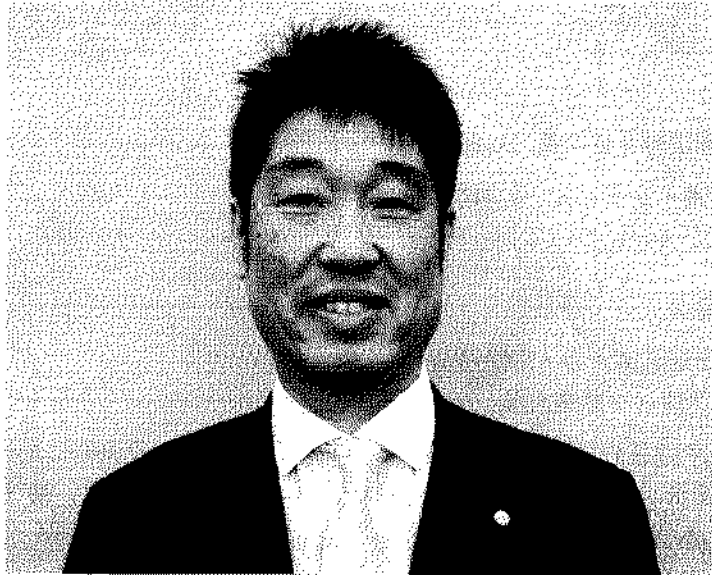
公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成27年10月20日

目 次

●	巻頭言 「もっと Aggressive (積極的) に」 …………… 副会長 柴田宗宣 ……………	2
✦	表紙の写真 ……………	3
✦	特集1 大西辰博名誉会長の功績 ……………	4
✦	特集2 【会員インタビュー】林啓史副会長に聞く 「3つのビジョンについて」 ……………	7
✦	普通救命講習会 ……………	10
✦	第6回近畿少年柔道大会・形競技会 第41回近畿ブロック柔道大会 ……………	12
✦	平成27年6月13日のソフトバレーボール・インドアベタンク大会における 救護活動報告 …………… 救急救護隊 第二分隊 分隊長 岡村優輝 ……………	16
✦	昇段昇級審査会、第64回亀岡平和際協賛 市民柔道大会 救急救護隊活動報告 …………… 救急救護隊 第四分隊 井爪英人・服部博幸 ……………	16
✦	第12回宮津与謝柔道連盟杯 ジュニア大会救護活動報告 …………… 救急救護隊 第五分隊 分隊長 横町和宏 ……………	17
✦	LOTUS BOWL 2015 救護活動報告 …………… 事業部 田井 覚 ……………	17
✦	第62回京都市ソフトボール大会 第25回京都市壮年ソフトボール大会 救護活動 …………… 救急救護隊 第一分隊 清水武史 ……………	18
✦	第24回上山杯兼第7回絆杯柔道大会救護活動報告 …………… 救急救護隊 第五分隊 寺田明彦 ……………	18
✦	支部だより	
●	・下京・南支部会 …………… 通信員 金 錫奎 ……………	19
●	・西山会開催 …………… 通信員 加藤吉一 ……………	19
●	・中丹会納涼会 …………… 通信員 山根文彦 ……………	20
●	・伏見支部会 …………… 通信員 松本吉弘 ……………	20
●	・北・上京支部会報告 …………… 通信員 田鍋雅裕 ……………	21
●	・南丹支部会・懇親会 …………… 通信員 山田道郎 ……………	21
○	会員の動静 ……………	22
✦	お詫びと訂正 ……………	22
✦	掲示板コーナー ……………	22
▲	編集後記 ……………	23

巻頭言「もっとAggressive(積極的)に」



副会長 柴田宗宣

厚生労働省の規制緩和により厚生労働省の考えた市場原理には当てはまらず、我々の業界は飽和状態となりました。そのため本来の柔道整復師の業務からは想像も付かないような癒しやエステの看板を掲げた接骨院・整骨院が増え、今や接骨院・整骨院はマッサージをしてくれるところと思っている人々も少なくないと考えます。また一部の心無い柔道整復師のために療養費支払い審査の厳格化を招き、保険者から来るお尋ねのため来院患者にも影響し、マスメディアや臨床整形外科からもバッシングを受けております。

さて、平成27年4月から始動しました新執行部のテーマはこのようなモラルの無い柔道整復師のために失墜した「柔道整復師の信頼の回復」です。我々の療養費受領委任払いは患者さんとの信頼関係で成り立っている制度です。本来療養費は償還払いですが、患者さんの経済的・事務的負担軽減のために出来た制度で、我々のために出来た制度ではないのです。その患者さんの信頼を失ってはこの制度は無くなってしまいます。そうなればJudo TherapistとしてWHO（世界保健機関）で認知された柔道整復師がいなくなり、日本の伝統医療としての柔道整復が消滅してしまいます。我々の治療はマンツーマンの治療です。医療機関のように検査、診察、処置、投薬と分か

れていません。一人の施術者がずっと対面で施術するのです。毎日の丁寧な施術が信頼を構築し、その信頼が我々柔道整復師の社会に対して発言する時の担保となるのです。とは言え、このような悠長なことをしているだけでは保険者からのお尋ねという名前の調査、そしてレセプトの返戻の問題は解決しません。行政、保険者にこれまで以上に Aggressive (積極的) にコンプライアンスのある公益社団法人所属の会員と個人契約との違いを訴え続けなければなりません。行政、保険者の担当者は2～3年で部署を移動され我々のことが引継ぎされないことも珍しいように思います。本会では、新入会の先生には6か月の保険取扱い講習や、ベテラン会員の先生にも年2回の学術講習会や保険講習会を受講していただき最新の治療方法や保険情報を習得して行政機関や保険者に協力していることをご存じない担当者も想像以上に多くおられます。本来なら我々のことを一番知っていただかなければならない方々がこのようですので、一般の方々が接骨院・整骨院はマッサージをしてくれるところとでも思っているもおかしくないのは当たり前かも知れません。

これまで社会に対して柔道整復師のこと公益社団法人の柔道整復師会の活動を行政、保険者、一般の方々にあまり発信していなかったと思います。我々のことを知っていただかなければ理解もされませんし信頼の構築もされません。そして初めにしなくてはならないことは一見して信頼できる施術所の証、公益社団法人所属であることの名称統一と思います。これを実現するには大変高いハードルがあります。長尾会長が言われる「覚悟」です。今日、明日に出来ることではないですが、実行しなければならないことと信じております。

我々、柔道整復師は日本国が認めた国家資格です。医療人として日々の施術で患者さんとの信頼関係を構築することが、社会に対して信頼回復することに繋がると思っています。

今後とも、本会事業にご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

表紙の写真

広沢池 (ひろさわのいけ)

宇多天皇の孫にあたる寛朝僧正が、平安時代中期に、池の北側(遍照寺山の麓)遍照寺山を建立したことに併せて造られたものと伝えられているが、一説には、この付近一帯の用水池として掘られたものともいわれている。

西に位置する大覚寺の大沢池とともに、古くより観月の名所として知られ、多くの歌人によって数多くの歌が詠まれました。

現在は鯉などの養殖が行われており、年末に池の水を抜いて成長した鯉を収穫する「池ざらえ」は、京の冬の風物詩となっている。(現地案内看板より抜粋)

大西辰博名誉会長の功績

大西辰博名誉会長は京都府柔道整復師会会長を平成19年より4期8年務められ、平成25年の公益社団法人取得に大変ご尽力されました。持ち前の行動力と強いリーダーシップで会長職を遂行されておりましたが、平成26年10月頃、目の病気を患われ、現在も懸命に治療されています。しかし、このままでは会運営に支障をきたすという思いから、本年6月の改選を待たず3月末で自ら会長職をご勇退されました。

ここに大西先生の功績をたたえ、早期の病氣回復と会務への復帰をご祈念し、特集記事を組ませて頂く運びとなりました。今回、先生の腹心として、共に会務にご尽力されました中田康人総務部長にお言葉を頂きましたので、経歴とともにご一読ください。



柔道部長時代の 大西先生



近畿ブロック柔道大会 紅白戦

大西辰博会長辞職の日

総務部長 中 田 康 人

平成27年3月度 京都府柔道整復師会（以下、本会）定例理事会の席に、大西辰博会長（当時）から年度末をもつての会長辞職届が提出された。平成26年の秋から体調を崩されていたが必ず回復し復帰されるものと信じていただけに、長尾淳彦副会長（当時）から大西会長辞職について報告が行われた時にはやるせ無い気持ちを抑えることで精一杯だった。その時の議事録を読み返してみると会長辞職に伴う新会長の選定等々、辞職の報告のあとも総務部長として理事会を務めていたようだが恥ずかしながらあまり記憶がない。

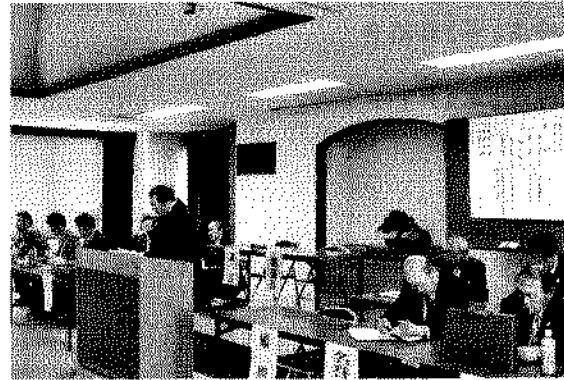
大西先生が初めて本会の会長に選任された平成19年に私は先生から委嘱されて本会理事となり総務部長を拝命した。一般会員から一気に総務部長となった訳だが、不思議と精神的な重圧はなかった。悪い意味で使う役得という言葉があるが、私は役を与えられたことに得を感じ平成19年以来役員を務めてきたし、肉体的疲労は多少あったものの、役を受けて成長した部分はかなりある。平成27年に長尾先生（現本会会長）から続けて総務部長の指名を受けられたのも大西先生に鍛えられたお陰だと感じている。

大西先生が数多く残された功績については本紙別項に記載されているので省略するが、本会の今後を見据えて行われた大事業として平成20年の「会館土地購入」と平成25年の「公益法人への移行」を挙げたい。会館土地購入は当時の反対勢力による抵抗で成立まで難航したが今後の会館維持運営を考えた場合に必須な事業であったし、公益法人への移行は本会会員における柔道整復療養費受領委任払制度の維持継続に当たって重要な事業だと考える。

大西先生が平成19年に本会の会長選挙に立候補されて以来、公益社団法人日本柔道整復師会（以下、日整）代議員会議長選挙や日整の理事選挙等、私は先生の選挙に裏方として携わってきた。先生は選挙に負けるまで役職を続けること、私はそのサポートを続けることを二人の間で話していたが、先生は平成27年3月31日に選挙で負けることなく、自ら役職を解かれたのである。



京都接骨学会での会長挨拶



通常総会での会長挨拶



日整代議員会で議長を務める



中田理事とともに京都府庁へ訪庁



日整全国少年柔道京都大会 表彰式



日整全国柔道大会 近畿ブロックチーム優勝記念撮影

経 歴

昭和51年3月 明治鍼灸柔道整復専門学校 卒業

自 昭和51年3月31日
(1年2月) マキノ整骨院 勤務
至 昭和52年5月31日

自 昭和52年6月1日
(2年11月) 足立病院 勤務
至 昭和55年4月30日

自 昭和55年5月1日
(8年11月) 菅野接骨院・河村接骨院 勤務
至 平成1年3月31日

自 平成1年4月1日
(26年6月) 大西接骨院 院長
至 現在

自 平成9年4月1日
(2年0月) (社)京都府柔道整復師会 伏見支部長
至 平成11年3月31日

自 平成11年4月1日
(8年0月) (社)京都府柔道整復師会 理事
至 平成19年3月31日

自 平成18年4月1日
(2年0月) 京都府柔道連盟 評議員
至 平成20年3月31日

自 平成19年4月1日
(8年0月) (公社)京都府柔道整復師会 会長
至 平成27年3月31日

自 平成19年4月1日
(8年0月) 日本柔道整復師会近畿ブロック会
至 平成27年3月31日 理事

自 平成19年4月1日
(8年0月) 京都市伏見地域介護予防
至 平成27年3月31日 推進センター センター長

自 平成19年4月1日
(8年0月) (公社)京都府柔道整復師会
至 平成27年3月31日 指定居宅介護支援事業所 代表

自 平成19年6月10日
(6年0月) (公社)日本柔道整復師会 代議員
至 平成25年6月23日

自 平成19年8月23日
(4年2月) 京都医療関係団体連絡協議会 副会長
至 平成23年10月13日

自 平成20年4月1日
(1年0月) 京都府柔道連盟 理事
至 平成21年3月31日

自 平成21年4月1日
(6年0月) 京都府柔道連盟 常任理事
至 平成27年3月31日

自 平成23年6月10日
(0年3月) (公社)日本柔道整復師会
至 平成23年8月31日 代議員会議長

自 平成23年10月14日
(2年0月) 京都医療関係団体連絡協議会 監事
至 現在

自 平成25年6月24日
(2年0月) (公社)日本柔道整復師会 理事
至 平成27年6月28日

自 平成27年4月1日
(0年6月) (公社)京都府柔道整復師会 名誉会長
至 現在

自 平成27年4月1日
(0年6月) 日本柔道整復師会近畿ブロック会
至 現在 相談役

(審議会関係歴)

自 平成19年6月4日
(8年3月) 京都社会福祉審議会 委員
至 現在

自 平成25年10月1日
(1年6月) 京都医健専門学校 関係者評価委員
至 平成27年3月31日

自 平成19年6月4日
(1年6月) 京都医健専門学校
至 平成27年3月31日 教育課程編成委員

(賞 罰)

平成20年2月6日 日本公衆衛生会長表彰
(公衆衛生事業功労)
平成21年5月24日 京都市長表彰
(公衆衛生事業表彰)
平成21年5月24日 京都府知事表彰
(公衆衛生事業表彰)
平成21年5月24日 京都労働局長表彰
(労働基準行政推進功労)
平成22年3月2日 厚生労働大臣表彰
(公衆衛生事業表彰)

【会員インタビュー】 林啓史副会長に聞く

「3つのビジョンについて」

このたびの役員改選で林啓史会員が副会長になりました。

昭和56年年初に入会。今年入会35年目を迎えられ、本会最年長理事で本会への関わりは最も深いと言っても過言ではありません。

京柔整会報136号の副会長就任挨拶では3つのビジョンを掲げられました。

1. 社会に必要なとされる魅力ある柔道整復師を目指す。
2. 次の世代が安心して継承できる職業にする。
3. 会の存続のために改革を図り、充実した組織創りをする。

少子高齢化による人口減少、国家財政難による医療費の削減、養成校の急増に伴う資格者の急増と我々の業界にとって厳しい情勢のなか、林副会長のこれまでの取り組み、3つのビジョン、今後の取り組みについて伺いました。

—柔道整復への関わりについてお聞かせください。

もともとは違う仕事をしていました。しかし、以前の仕事より更なる社会的貢献がたくて柔道整復師になりました。

—京柔整への関わりについてお聞かせください。

1981年（昭和56年）に入会しました。情報を扱う理工学部の大学に在学していた関係もあって、入会后、すぐにコンピューター委員に任命されました。当時はレセプトコンピューターが普及しておらず、業者の協力を以って2年目に完成させ、会員の皆さんに使っていただけるようになりました。また、コンピューター委員と同時に学術部にも在籍し、平成9年から近畿ブロックの超音波委員会で副委員長を務め、平成13年からは委員長になって、現在も務めています。

—初めて理事になられたときのことを教えてください。

はじめての理事は当時の栗原壽雄会長から委嘱を受けて就任しました。学術担当になり、学術を担当した年に、第26回近畿ブロック学会が開催され、京都主管で委員長として成功裏に納めることができました。

—その後の理事職についてお聞かせください。

理事2期目はIT事業担当でした。当時、IT事業部は部員3人。IT事業部の中でIT委員会を立ち上げました。

IT委員会はコンピューター委員の流れをくみ、各部から1名ずつ集まり、館内のネットワークでの効率化を図りました。会館内でコンピューターがどこでも使えるようにネットワーク作りを依頼され、LANケーブルの配線など、2年かけてインフラ整備をおこないました。同時に各メーリングリストの構築、ホームページの開設をおこないました。インフラ整備の完了とともにIT事業部はなくなりましたが、IT委員会は残され、2年前までIT委員長をしていました。2年前に総務部に吸収



定時総会（平成27年6月7日）

され、現在、IT委員はなくなっています。

3期目からは保険担当になりました。入会以来、コンピューター委員と学術部に携わっていたこともあり、学術担当、IT事業担当の理事は戸惑うこともなかったのですが、保険だけは今まで取り組んでいなかった分野だったので、始めは苦労しました。保険取り扱い業務に公平性をもたせ、疑義照会に関して、毎回国会館にて会員と面談をおこなうことなく、FAXやEメールを駆使することで、会員の負担軽減、経費の節減に努めました。

3期から7期の間で、コンピューターを駆使し、効率的に保険部の運営ができたのではないかと考えています。

—3期から7期まで保険担当で理事を務められましたが、ご自身で思われる一番大きな取り組みについてお聞かせください。

平成23年から3年にわたり、京都府と国保連合会の依頼を受けて、京都府国民健康保険事務担当者研修会の講師を務めました。それぞれ90分から120分の研修会で、京都府下全域、26市町村国保11職域国保の療養費を取り扱う実務者に柔道整復療養費の「基礎知識から応用・運用へ」と講義をしました。

平成24年からの4課長通達により保険制度の改革が始まり、医療費の通知、患者照会が始まる中で、その前に柔道整復術療養費についての研修会を開催できたことは大きな意義があったのではないかと考えています。

平成17年から国保連合会の審査員、協会けんぽの審査員、労災の審査員と保険に関わる審査員を歴任しています。

国保連合会の審査員は施術者代表、保険者代表、学識者から各3名ずつの計9名で構成されています。京都府下の中に事務所を構え、定款を持ち、決算報告を告示できる組織が専任する基準だろうと行政に主張し、国保においては京都府からの委嘱を受けて京柔整から3名の審査員を派遣しています。

3年にわたる京都府国民健康保険事務担当者研修会の講師、国保連合会、協会けんぽ、労災の審査員を務めることで、行政から一目おいてもらえるようになり、公益社団法人を行政にアピールできたのではないかと考えています。

積極的な行政との協力関係の構築により、徐々に信頼関係を構築し、信頼のおける公益社団法人京都府柔道整復師会の会員から出される申請書であれば、間違いのないと思ってもらえるように取り組んできました。この取り組みが公益社団会員と会員外の区別化につながるのではないかと考えています。

—前号の京柔整会報136号の副会長就任の挨拶で掲げられた3つのビジョンは果敢な挑戦のように思われますが、3つのビジョンについてお聞かせください。

今までは学術部、IT事業部、保険部の担当としての立場で理事のあいさつ文を掲載してきました。今回、副会長の立場になり、就任の挨拶で3つのビジョンをようやく掲載することができました。

1～3期の理事は会長の委嘱を受けての委嘱理事でしたが、4期目からは理事に立候補しました。立候補する以上、会員からの支持を得る必要があります。理事としての公約、ビジョンを会員の皆さんに示す必要があります。選挙の演説会ですでに3つのビジョンを語っています。(当時の選挙広報の資料を取りだし



保険講習会（平成27年3月15日）



60周年記念式典（平成26年6月8日）

ながら) 業界に入る前からこのビジョンは頭にありましたが、選挙の演説で皆さんの前で決意を表すことができました。それが今日まで続いているだけで、副会長になったからといって、特別新たに掲げたビジョンではなく、136号の就任の挨拶で初めて書いたビジョンでもありません。

—《Communication is very difficult but very important》の文言が理事就任1期目から7期目までのあいさつ文に載っているのですが、その真意をお聞かせいただけますか。

今現在も、哲学的な勉強会に参加しています。学ぶことが大切だと思います。

自分の想いは相手に伝えても、それが相手に伝わっているかどうかの確認は難しい。子供に話しても自分の年齢の言葉では伝わらない。言ったじゃないかといっても、相手にそれが伝わってなければ意味がない。患者さんへの説明においても同様のことが言えます。なぜシップが必要か、なぜ固定が必要か、なぜ安静が必要か。自分の目線ではなく、患者目線で言えているかどうか重要だと思います。

必要なことですが、全く答えが出ない永遠の課題です。答えが出ないから、ずっと言い続けることで意識するようにしています。

—理事職において8期15年目に入りましたが、今後保険部としてどのようなビジョンを持たれていますか？

新入会員に対しての6回にわたる保険講習会、年2回の保険講習会、保険・労災手引書の更新、既存会員へのフォローアップ講習会などを通じて、これら会員への指導が評価され、審査において本会会員であれば信頼のおける申請書だと判断してもらえるようになればと思っています。その実現には会員の皆さんにも療養費支給基準に則った請求をしていただいて、行政の信頼を得、請求が100%通るようになればよいと思っています。

—今回副会長とされましたが、副会長としてのビジョンについてお聞かせください。

副会長は会長を支え、補佐するというのが大義であり、その姿勢を崩さずに会務に取り組みたいと思っています。長尾会長の「柔道整復師の信頼回復」の所信と、初めての理事選挙での選挙公約が同じ方向性なので、就任の挨拶で今回初めて3つのビジョンを載せることが出来ました。

これからも京柔整のために何ができるかを意識して会務に取り組みたいと思います。そして、これからも会員の皆さんが幸せに過ごせるように、3つのビジョンを貫き通したいと思います。



定時総会懇親会 (平成27年6月7日)

取材後記

前号136号で初めて3つのビジョンを掲げられたものと思っていましたが、平成19年の選挙の演説会ですでに同じことを公約され、その姿勢を崩されずに現在も理事を務められていることがわかり、驚きました。《Communication is very difficult but very important》も理事1期目のあいさつ文より変化はありません。まさに初志貫徹。まったくブレない林副会長の姿勢に会員の皆さんは安心されるのではないのでしょうか。

林副会長、ありがとうございました。

(広報部 森田康裕)

普通救命講習会

平成 27 年 7 月 5 日（日）午前 9 時から本会 5 階大会議室に於いて、普通救命講習会が開催されました。普通救命講習は応急手当のうち最低限必要な AED の使用方法を含めた成人に対する心肺蘇生法（胸骨圧迫）、止血法、異物除去などを学ぶ講習で、本会では何度か開催されており、昨年は 5 月に開催されています。

定刻になり事業部 安本彰吾会員の司会で始められました。林 啓史副会長の開会挨拶の後、講師の京都市消防局 東山消防署警防課救急係 救急係長 玉置 守様により講習が開始されました。講習は前半 1 時間、パワーポイントを使った講義が行われました。内容は応急手当の重要性からはじまり、心肺蘇生法の手順、胸骨圧迫のやり方、AED の使用法など長年救急に携わって来られた経験からの実話を交えて詳細に進められました。

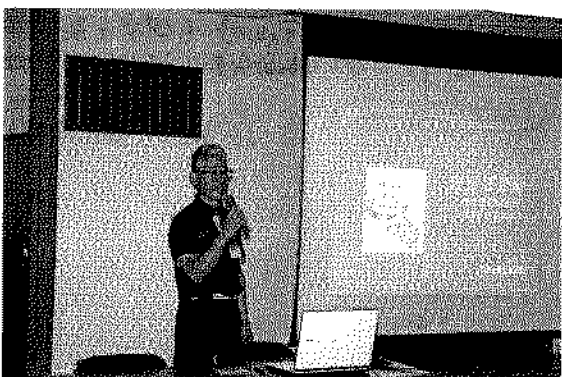
休憩をはさみ、後半は 3 つのグループに分かれ、サポート講師陣の沢村様、若狭様、立野様も交えて実技へと移りました。まず、心肺蘇生訓練用人形を使用して胸骨圧迫を 1 人ずつリレー的に交代して行いました。胸骨圧迫は「強く、早く、絶え間なく」ということですが速すぎても良くなく、その辺りの感覚を講師の先生から指摘されながら行いました。次に数人ずつのグループに分かれ、救命のシーンを想定したシミュレーションが行われました。最初の想定は「清水寺参道を歩行していたおじいさんが倒れた」というもので、グループ内で一番若い参加者がリーダーとなり、観察、人を呼び、救急車依頼、AED の依頼、気道確保を指示、胸骨圧迫開始、AED 装着という流れで順次進めていきます。次に交代して「京都駅でおばあさんが倒れた」との想定で同じように実際の手順を学びました。



開会挨拶 林 啓史副会長



東山消防団のサポート講師陣



東山消防署 玉置 守講師



会場の様子

質疑応答の時間が設けられました。内容を列挙します。

質問1：女性が対象の場合、気を付けるべきことを教えてください。

回答1：必要に応じて衣服を切りとる場合がありますが切りとった後、その布を上にかけてたり、何かでカバーするといいです。人が集められるようなら男性は救急処置の周囲に後ろ向きで人垣を作って立って見えないようにするという方法もあります。

質問2：胸骨圧迫ができる機械がありますか？

回答2：実際に機械がありますが、あまり使われていないように思います。高齢女性で骨粗鬆症などの方は骨折しやすいし、機械だと強すぎるのではないかと思います。

質問3：回復姿勢では側臥位をとりますがどっちを上にした方がいいのでしょうか？

回答3：基本的にはどちらがいいということはありません。しかし、実際的には表情が観察できる向きということになるかと思ひます。

質問4：乳児の胸骨圧迫について具体的に教えてください。

回答4：乳児の胸骨圧迫は中指と薬指の指頭を使ひます。理由は段差が少ないからです。強度に注意して行ひます。

質問5：体格が違う人を扱う場合についてご教示願ひます。

回答5：体格の大きな人を起こす場合があつたとします。大型バイクの起こし方を考えてみて下さい。背中に腕を回して膝を支点にして起こします。(実際にジェスチャーをして解説されました。)

質問6：頸椎損傷が疑われる場合の注意点を願ひします。

回答6：搬送時を例にとります。リーダーが頭頸部を把持し、なるべく動かさないようにし、胸部、腰部を1人ずつ把持し3人でリーダーが指示しつつ搬送します。

質問7：円背の人の胸骨圧迫についてご指導願ひます。

回答7：状況に応じて工夫して行ひます。胸骨圧迫では5cm沈めることが目標ですが1cmでも多く対象者の負担にならないように行ひます。背中を壁に付けて坐位で胸骨圧迫を行つたこともあります。

質疑応答のあとで出血についてお話があり、清潔なタオルを折りたたみ傷口を直接圧迫する止血法について解説されました。

最後に岡田達也事業部副部長より閉会挨拶があり、12時30分に講習会は終了しました。



実技講習の様子

第6回近畿少年柔道大会・形競技会 第41回近畿ブロック柔道大会

平成27年7月26日（日）大津市におの浜にある滋賀県立武道館柔道場にて日本柔道整復師会近畿ブロック会主催による、第6回近畿少年柔道大会・形競技会及び第41回近畿ブロック柔道大会が行われました。

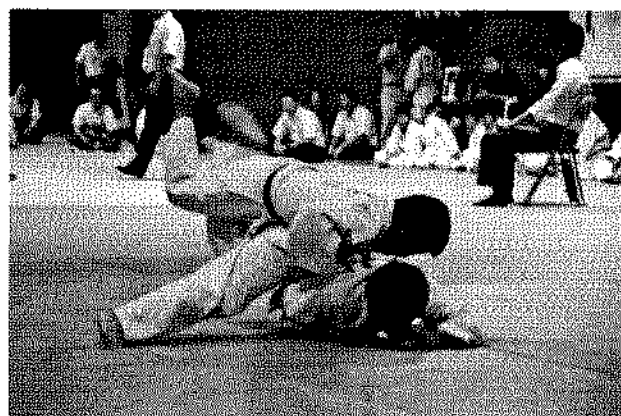
8時30分に受付開始し9時30分より開会式が行われました。中江利信大会副会長より開会宣言がされ、国歌斉唱、長尾淳彦大会会長より挨拶、前田敏一審判長の試合上の注意、栗東柔道スポーツ少年団安枝風香選手による選手宣誓が行われ、形の演舞が行われました。しっかりとした演舞を行い、終了後には会場から沢山の拍手がありました。10時より学年別試合が開始され、熱戦が繰り広げられ11時30分頃に試合が終了し閉会式が行われました。京都からは東方館から出場した石原求道選手が4年生の部で三位に入賞しました。おめでとうございます。試合結果、成績に関しては別掲の通りとなります。

第41回近畿ブロック大会は午後1時より開会式が行われ、改めて中江利信大会副会長の開会宣言、連続出場者の表彰、国歌斉唱、長尾淳彦大会会長の挨拶、前田敏一審判長から試合の注意事項の説明がされ、滋賀県の伊藤勉選手の選手宣誓にて、午後1時30分より紅白試合が行われました。紅白戦が終わり、近畿ブロック代表を決める年代別選手権が行われました。終了後は、入賞者の表彰があり、日整全国柔道大会に出場する選手の紹介をされて終了となりました。試合結果、成績に関しては少年柔道大会の結果同様、別掲の通りとなります。京都からはガンバトル・フデレムンフ会員、湊谷知幹会員の二名が近畿ブロック代表として選ばれました。全国大会での活躍を心よりお祈り申し上げます。

京都から出場された選手の皆様、関係者の皆様、お疲れ様でした。



長尾淳彦大会会長



試合風景

第6回近畿少年柔道大会「結果」

日程：平成27年7月26日（日）

会場：滋賀県立武道館

	小学4年生の部	小学5年生の部	小学6年生の部
優勝	滝本 稟夏 (和歌山・正木道場)	頭徳 海利 (兵庫・神戸少年柔道クラブ')	山本 彩樺 (兵庫・広畑柔道教室)
準優勝	南橋 雪菜 (滋賀・浅井柔道クラブ少年団)	藤村 心大 (兵庫・真道館)	磯野 凌吾 (和歌山・健心館島中道場)
第三位	石川 凪 (和歌山・更生館道場)	増田 耀馨 (滋賀・高月柔道クラブ少年団)	南本 元希 (兵庫・土曜柔道会)
第三位	石原 求道 (京都・東方館)	望月 孝太郎 (兵庫・兵庫少年こだま会)	一ノ瀬 元暉 (和歌山・松江少年柔道クラブ')

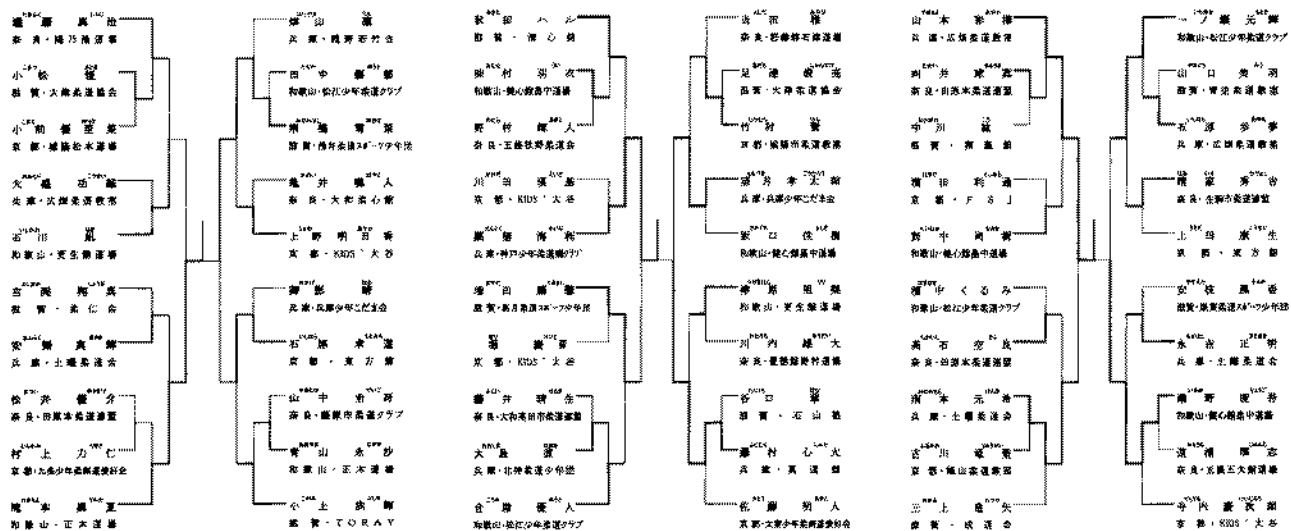
第39回日整全国柔道大会「近畿代表選手」

年代	府県名	氏名	段位	生年月日
50歳代	兵庫県	川口 雅也	四	S36.1.28
40歳代	京都府	湊谷 知幹	六	S47.5.15
30歳代	兵庫県	磯田 和伸	五	S57.9.22
30歳代	奈良県	平野 大亮	五	S50.10.6
20歳代	京都府	ガソバートル・フジノ	武	S62.4.16

小学4年生

小学5年生

小学6年生



紅白戦対戦表(1)

第一試合場

番号	府県	氏名	段位	年齢	府県	氏名	段位	年齢
1	滋	梅田 周司	初	40	和	横貫 博崇	参	40
2	京	小宮山 彰人	四	32	兵	磯田 和伸	五	32
3	滋	永井 裕之	四	35	和	西岡 正人	四	38
4	滋	真下 盛吉	五	36	兵	上濱 博文	四	46
5	滋	前田 和規	四	38	兵	佐伯 高志	四	40
6	兵	池田 裕昭	五	39	京	大森 康之	六	45
7	兵	坊 晃	五	47	奈	木村 友慈	五	52
8	兵	佐々木 良弘	五	64	京	長井 隆尚	六	68
9	奈	西尾 勝彦	六	73	兵	中村 古	五	73

審判員割当(第一試合場)

米澤 祐一 小林 重和
 朝比奈 徹 安枝 隆志

※審判割当は、紅白戦及び年代別選手権も同様にお願いたします。

優秀選手賞

滋賀県 梅田 周司会員・真下 盛吉会員
 奈良県 平野 大亮会員・石津 佳和会員
 木村 友慈会員・西尾 勝彦会員
 兵庫県 白川 達也会員

以上7名

紅白戦対戦表(2)

第二試合場

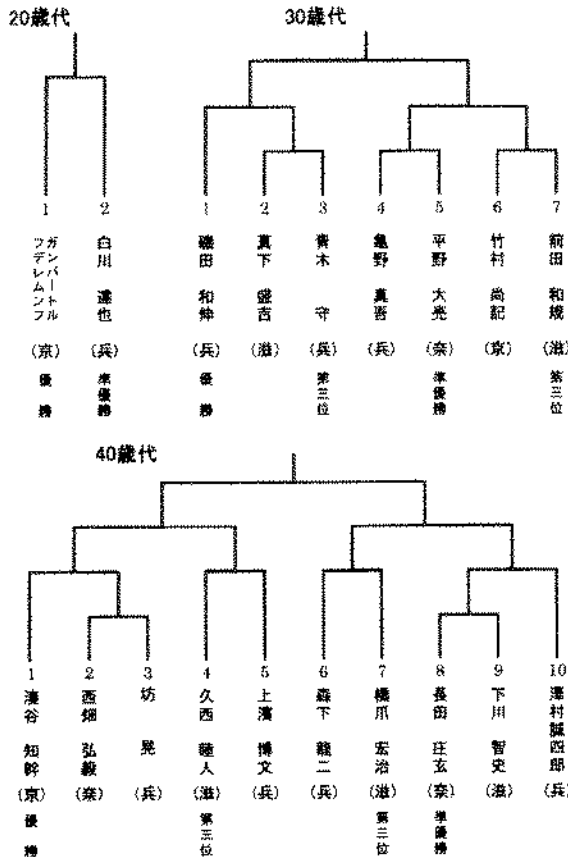
番号	府県	氏名	段位	年齢	府県	氏名	段位	年齢
1	滋	辻 宏明	武	38	兵	白川 達也	武	25
2	兵	青木 守	参	34	滋	橋爪 宏治	四	41
3	滋	下川 智史	武	40	奈	長田 庄玄	四	41
4	和	桑本 謙也	参	46	奈	西畑 弘毅	参	44
5	和	田伏 隆	四	46	京	田中 茂郎	四	47
6	兵	澤村 誠四郎	五	48	奈	石津 佳和	五	45
7	奈	平野 大亮	五	39	京	竹村 尚記	五	40
8	兵	磯田 實	七	65	京	岡島 順	六	67
9	兵	横貫 昌盛	七	61	和	藤田 善治	六	55
10	兵	野田 哲郎	七	62	奈	田房 豊彦	七	69

審判員割当(第二試合場)

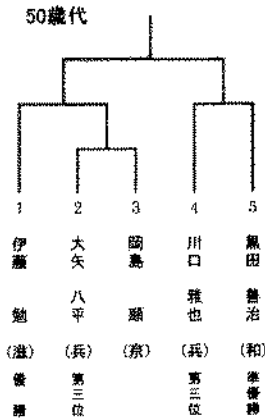
平尾 良彦 大橋 年成 鈴木 久嗣
 北川 基寛 太田 良彦

※審判割当は、紅白戦及び年代別選手権も同様にお願いたします。

年齢別選手権大会(兼日整全国大会予選)



年齢別選手権大会(兼日整全国大会予選)





京都からの少年柔道大会出場者



近畿ブロック柔道大会出場者



近畿ブロック代表選手

平成27年6月13日のソフトバレーボール・ インドアペタンク大会における救護活動報告

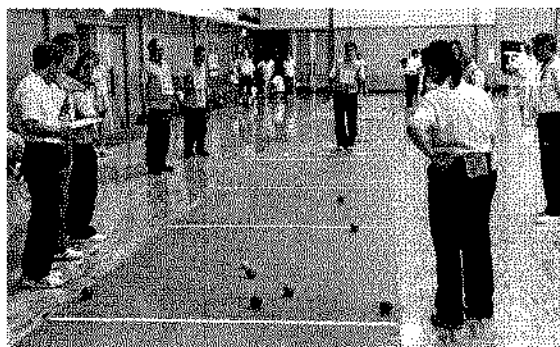
救急救護隊 第二分隊 分隊長 岡村 優輝

平成27年6月13日(土) 武道センターにてソフトバレーボール・インドアペタンクの地区大会が開催されました。ご高齢の方も多数ご参加されており、大会前の挨拶の際には内心、けが人が多数出ることを予想しておりました。各代表の方のご挨拶後、ラジオ体操にて準備体操を会場全員で行い各試合が行われました。

インドアペタンクはその場からの投球を行うのであまり運動量の多いスポーツではありませんでしたが、ソフトバレーボールは初心者の方から以前にバレーボールをされていたと感じさせる方まで、技術的な大きな幅が見て取れました。

前半は無事に終了した頃、一人の男性に声をかけられました。「テーピングの巻き方を教えてほしい」というご相談でした。話を伺うと右内側半月板損傷術後自身でテーピングを巻いていたが疾走時に疼痛が出てしまうという内容のご相談でした。テーピングの選択、巻き方などをお伝えし大変喜んでいただいたことが印象的でした。

その後も順調に大会は進み、入賞地区の表彰があり、傷病者なく無事活動を終えることが出来ました。



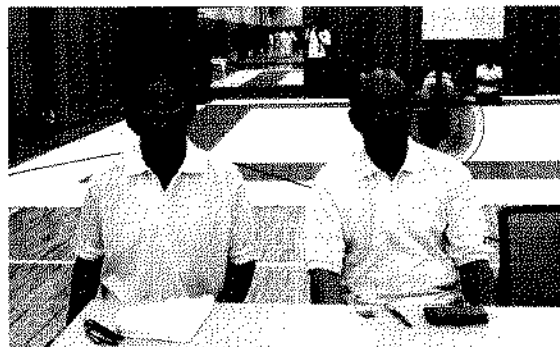
昇段昇級審査会、第64回亀岡平和際協賛 市民柔道大会 救急救護隊活動報告

救急救護隊 第四分隊 井爪 英人・服部 博幸

平成27年7月12日(日) 京都府亀岡市の京都学園大学柔道場において、昇段昇級審査会ならび第64回亀岡平和際協賛市民柔道大会が開催されました。公益社団法人京都府柔道整復師会より救急救護隊第四分隊 井爪英人隊員、服部博幸隊員が救護隊として参加してきました。当日は、京都府に高温注意情報が出されており、気温湿度ともに非常に高かった中、午前10時より昇段昇級審査会が始まりました。順調に審査会が進む中、午前11時30分頃、4試合目の16歳男子が試合中に突然膝から崩れ落ちるように倒れこみ、審判員から救護要請されました。試合場へ入ると意識混濁、全身痙攣、異常発汗等を認めたため、ただちに救急車の要請を行うとともに、熱中症の疑いも考慮し柔道着を緩め動脈の冷却ポイントを氷で冷却し救急車の到着を待ち、救急隊員に引き継ぎました。その後、病院から大会本部に経過良好との連絡がありました。午後からの亀岡平和際協賛市民柔道大会は、14歳男子の左肩部打撲のアイシング処置1名のみで、その後、大きなケガはなく大会は無事終了いたしました。



試合風景



井爪隊員、服部隊員

第12回宮津与謝柔道連盟杯 ジュニア大会救護活動報告

救急救護隊 第五分隊 分隊長 横町 和宏

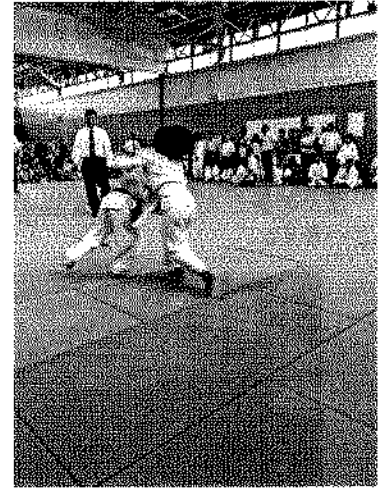
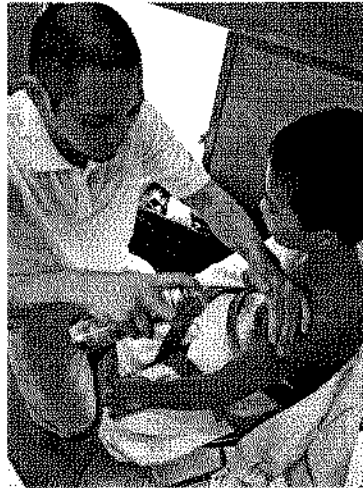
平成27年7月5日(日)に宮津市民体育館で開催された、第12回宮津与謝柔道連盟杯ジュニア大会に有留孝信隊員、横町が救護隊として参加しました。

曇って湿度の高い梅雨らしい天候になりましたが、元気イッパイの子ども達の熱気で、非常に盛り上がった大会となりました。

毎年救護大会に参加していると、子ども達の成長を肌で感じる事ができ、応援する際にも思わず力が入りました。

救護内容は鼻出血1名、左上腕部挫傷1名、手指の骨折の疑いが2名、前腕骨骨折の疑いが1名となり、その内3名が医療機関を受診しました。

残念ながら怪我の多い大会となりましたが、小学生1年生から中学3年生までの子ども達が、日頃の練習の成果を十分に発揮した素晴らしい大会でした。



LOTUS BOWL 2015 救護活動報告

事業部 田井 覚

平成27年7月20日(祝)宝ヶ池球技場にて、アメリカンフットボールの普及イベントである『LOTUS BOWL 2015』が開催され、そのフラッグフットボール大会、アメフト体験会に救護班として事業部員の稲葉正和会員と田井が参加しました。

この日はとても良い天気に見舞われ、予想通り熱中症の症状で救護室を訪れる子どもが3名も出てきましたが、その内1名は水分を自ら飲むことが出来ない状態が続いた為、救急搬送して頂き、病院での対応をお願いしました。

この3名はいずれも、アメフト体験会の参加者で、あの大きな防具を着けて、ウォーミングアップ中に発症したものでした。

これだけの気温の中で行う場合の服装や、気温馴化の方法など、今後に必要な事が幾つか見つけれられたように感じました。

外傷では、下腿の筋挫傷の男性が1名。足関節の捻挫の小学生女子が1名でした。

稲葉会員はスポーツの現場における経験が非常に豊富で、私は沢山学ばせて頂いた素晴らしい機会でした。

若い先生で救護班のご経験がない方は是非、一度経験されたら、日常の業務にも活かすことの出来る機会になると思います。貴重な機会をご提供頂き、ありがとうございます。



第62回京都市ソフトボール大会

第25回京都市壮年ソフトボール大会 救護活動

救急救護隊 第一分隊 清水 武史

平成 27 年 7 月 26 日（日）岩倉東公園グラウンドにて行われた標記のソフトボール大会の救護活動に携わってきました。下京・南支部の保家幸生隊員と北支部の清水武史の 2 名で活動してきました。

当日は晴天の中、気温も 35℃ を超え、酷暑の中の大会となりました。上記 2 大会共に各行政区を勝ち抜いた 11 チームが参加して、開会式後の 9 時 45 分頃から熱戦が繰り広げられました。

選手の皆さんの万一のケガや熱中症に対応すべく、救護所にて待機しておりましたが、今年はケガ人もなく無事、任務が完了しました。

11 月 3 日（祝）の市民スポーツフェスティバルでは、わかさスタジアム京都において第 62 回京都市ソフトボール大会決勝戦が、北梅津（右京区）・塔南（南区）の両チームで行われ、第 25 回京都市壮年ソフトボール大会準決勝及び決勝戦が、清水（東山区）、西京極（右京区）、藤森（伏見区）、柏野（北区）の 4 チームで行われます。

選手の皆さんには、来る 11 月 3 日におきましても、ケガなく日頃の練習の成果を発揮し、活躍して頂きたいと思います。



試合風景



清水隊員、保家隊員

第24回上山杯兼

第7回絆杯柔道大会救護活動報告

救急救護隊 第五分隊 寺田 明彦

平成 27 年 8 月 2 日（日）、第二十四回上山杯兼第七回絆杯柔道大会が午前 9 時から福知山市武道館に於いて開催されました。この大会は小学生・中学生を対象とし総勢 270 名の参加の下、個人戦と団体戦点取り方式で行われました。今回任命された井上真二隊員と私の 2 名で救護班を担いました。厳しい猛暑で朝から汗ばむ中、試合が進行するにつれ父兄の声援や少年少女の奮闘等、会場は熱気で溢れていました。負傷者は右肩関節捻挫の 2 名（男子）があり、いずれも軽症で冷却しテーピングを行い、その他、3 名鼻血の処置も行いました。以後 3 時まで幸いにも負傷者なく終了しました。



試合風景



寺田隊員、井上隊員

支部だより

下京・南支部会

通信員 金 錫 奎

平成27年7月18日(土)「はり清」にて下京・南支部会が行われました。

まずは、平成26年度取支計算書を森島康之会員が報告されました。

議題は支部会の活性化と交流を深める為に出た案といたしまして、平成28年4月を目安に支部旅行に行く事になりました。旅行先は韓国の釜山です。これが、今回の議題となりました。それと、大変喜ばしい事に山本俊広会員、中村賢治会員に第一子がお生まれになり本会と支部会からお祝いがありました。懇親会では京都府柔道整復師会 長尾淳彦会長と林啓史副会長に出席をして頂き、池田昭雄会員の乾杯で

始まり終始和やかな雰囲気楽しい懇親会となりました。



支部だより

西山会開催

通信員 加 藤 吉 一

平成27年7月25日(土) 真夏の薄暮に、リーガロイヤルホテル京都にて長尾淳彦会長をお招きして、右京、西京、乙訓支部による西山会を開催しました。

出席者26人、委任状23人、欠席者21人でした。

研修会は午後5時40分から「ラシゴーニュの間」で行われ、長尾淳彦会長にご挨拶および業界近況をお話して頂きました。次に綾田剣一会員 田中弘昭会員2名の学術担当理事、中川稔貴広報担当理事、中村英弘保険・事業担当理事の方々より業務報告などのお話をして頂きました。引き続き平成26年度 西山会 会計収支報告を中野雄太前乙訓支部長にして頂き、会計監査報告を多賀裕展前西京支部長にして頂き、全員一致で承認されました。

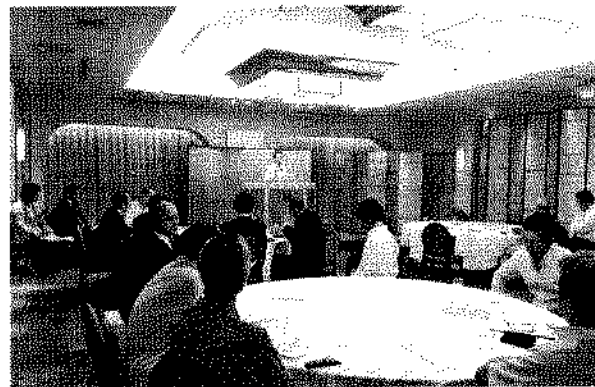
協同組合から指定業者の「株式会社 岡本」の岡本様より健康食品の紹介、説明がありました。

午後6時45分より懇親会が行われました。閉会の挨拶を藤野勝弘会員にして頂き、京都市条例に基づいてスパークリング日本酒で乾杯を

菅野泰二郎会員にしてもらいました。お食事はフランス料理をいただき、業界の事や日常のお話をしながら和やかな時間を過ごす宴となりました。

閉会の挨拶を山村政男会員にして頂き、無事に閉会することが出来ました。

お忙しい中、西山会に出席して頂いた会員の皆様、お疲れ様でした。今回ご多忙で参加のできなかった先生方も、有意義な時間を共有出来る場の西山会に参加して頂けることを希望します。



支部だより

『中丹会納涼会』

通信員 山根文彦

平成27年7月4日(土)に福知山市の的場接骨院駐車場にて、『中丹会納涼会』のBBQを開催しました。また、同日に今年、入会されました田中博貴会員の歓迎会も行いました。

支部長の挨拶から始まり、田中会員のスピーチ、業界の話、柔道との関わりについてまた、アカペラで歌が飛び出したり、ざっくばらんな

話で盛り上がりました。

久しぶりの屋外の懇親会が新鮮という意見も出て、今後もこのような会が開催されたら良いのではないかと早速、提案が出ました。

途中、小雨混じりにはなりましたが、なにより楽しい有意義な時間で親睦を深めました。



支部だより

伏見支部会

通信員 松本吉弘

平成27年8月1日(土)に「南禅寺ぎんもんど」に於いて支部会、懇親会が開催されました。午後5時より戸川和孝新支部長の挨拶で支部会は始まり新入会員の鈴木一世会員の紹介、平成26年度決算報告、監査報告があり平成27年度予算成立と成りました。引き続き長尾淳彦会長の代理として出席して下さった林啓史副会長による会務報告があり、保険講習会、質疑応

答へと進み閉会となりました。

午後6時より京都市議員で本会顧問の橋村芳和先生のご発声により懇親会は始まりました。支部員同志で活発な意見交換が有り、和やかに宴が進み「あっ」と言う間に時間が過ぎ林啓史副会長の先導による万歳三唱で幕を閉じました。



林啓史副会長 挨拶



橋村芳和京都市議員 挨拶

支部だより

北・上京支部会報告

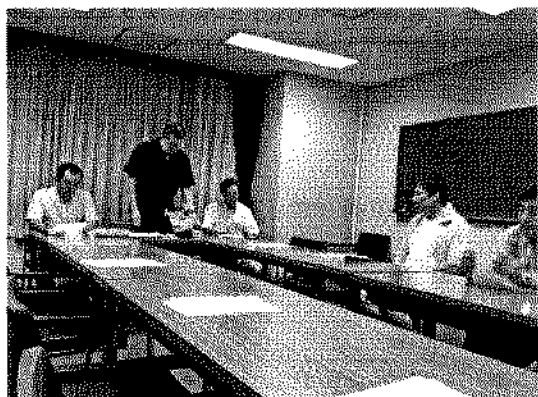
通信員 田 鍋 雅 裕

平成 27 年 7 月 25 日(土) 午後 4 時 30 分より
京都府柔道整復師会館 2 階小会議室において、
京柔整 北・上京会総会を開催しました。

総会では新入会紹介、会計報告の議事が進行
されました。

続いて午後 6 時より ホテル秀峰閣にて、市

議会議員 小林正明先生、寺田一博先生をお呼
びし「昨今の社会情勢について」お話頂き、そ
の後の懇親会では今後の柔道整復師の役割を話
し合う充実した意見交換会になりました。午後
8 時に閉会となり懇親会は解散となりました。



支部だより

南丹支部会・懇親会

通信員 山 田 道 郎

平成 27 年 6 月 27 日(土) 南丹市園部町の「う
お亀はなれ」に於いて南丹市部会・懇親会が開催
されました。午後 6 時より、林哲也支部長の司会
により支部会が始まり、欠席支部会員の近況報告、
新入会員の紹介と各会員の挨拶と順調に進み、平
成 26 年度の支部会会計報告を会計担当の矢野幸幸
会員より報告がありました。

次いで本会、長尾淳彦会長により最近の健康保
険の動向・説明、業界の近況報告、今年度から施

行される地域包括ケアシステムの説明がありまし
た。そして、今後の支部会員の積極的な「接骨学
会・保険講習会」の参加を要請されました。懇親
会では、畑吉昭会員の乾杯の挨拶で始まり、この
時期が旬の食材を活かした料理を堪能しました。
久々に各会員が揃ったことにより、盛んに情報交
換等が行われ有意義な時間となりました。

和やかな雰囲気ですべてが進み、瞬く間に時は過ぎ、
懇親会は閉会となりました。



会員の動静

新入会員紹介

梅本 裕幸 (東山・山科支部)
 (7月入会) うめもと接骨院
 〒605-0981
 京都市東山区本町21丁目462-5
 メゾン・ラメール102
 Tel・Fax: 075-746-4731



夏風 彰人 (北支部)
 (7月入会) あやめ接骨院
 〒603-8408
 京都市北区大宮北椿原町
 30-2
 Tel: 075-200-1530



岡田 修司 (東山・山科支部)
 (8月入会) コバヤシ接骨院・鍼灸院
 〒605-0971
 京都市東山区今熊野榎ノ森町7
 シャトーオーク1F
 Tel・Fax: 075-708-6862



死亡退会

謹みてお悔み申し上げます

◆本会相談役 田中一吉 会員(乙訓支部)
 平成27年7月13日にご逝去になりました。
 ご家族の皆さまさぞご落胆のことと思
 いますがどうぞお力落としのない様に念じ、
 心よりご冥福をお祈りいたします。

退会

6月 荒田裕司 (北丹支部)
 8月 田中 充 (南丹支部)
 9月 深田能丈 (中丹支部)

お詫びと訂正

京柔整会報136号(7月20日発刊)におきま
 して誤りがありました。正しくは以下の通りです。

20ページ「平成27年度 定時総会」記事内
 10行目
 (誤) 裁決を行い、(正) 採決を行い、

会員ならびに関係各位にご迷惑をお掛けしまし
 たこととお詫びするとともに、ここに訂正させ
 ていただきます。

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

		柔整関係	京都の行事
10月	25日(日)	協同組合講習会、保険講習会(京柔整会館)、全体会議	
	30日(金)~11月3日(火・祝)		京都御所一般公開
11月	3日(火・祝)	第27回 市民スポーツフェスティバル(西京極競技場)	
	7日(土)~8日(日)	第24回 日本柔道整復接骨医学会学術大会 (新潟コンベンションセンター)	
	8日(日)	医療推進協議会イベント(みやこめッセ)	
12月	11日(金)~20日(日)		嵐山花灯路2015
	21日(月)		終い弘法(東寺)
	25日(金)		終い天神(北野天満宮)
	30日(水)~1月3日(日)	会館休館日	
1月	10日(日)~3月18日(金)		第50回 京の冬の旅 非公開文化財 特別公開(智積院他、各寺院)

編集後記

- 林副会長のインタビュー記事はいかがだったでしょうか。インタビューではその方の考え方や取り組みを知ることができ、新しい気付きを得ることができ、自身の啓発になっています。これからも会員の皆様にインタビューをお願いすることがあるかと思いますが、ご協力よろしくお願いたします。 森田康裕
- 気がつけば、秋の気配が早くも訪れて今年は残暑が短かった気がします。今年は紅葉が早いかもしれませんね。気温差により風邪を引いている方も見掛けますので、皆様気をつけてお過ごし下さい。 しんじ
- すっかり秋らしくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。先月、解釈が曖昧なまま、安保法案が強行採決されました。賛否両論あると思いますが、私個人的には、そんなに急がなくてもいいのでは？と思いました。それと、デモに参加されている方を拝見していると、無関心だと言われていた若い人が目立つようになりましたね！この先どうなるのが、見守っていききたいです。 hatabou
- 秋も深まって参りました。今年もあと3枚カレンダーをめくると終わります。災害など何事もなく無事に終わって欲しいものです。思いがけなく楽しいこと、うれしいことが起こらないかなという淡い期待も心にあるようです。「我思うが故に我あり」デカルトの有名な言葉が頭に浮かびます。現実自分で作りに出している。すべてではないにせよ真理でもあるのでしょうか。明るい未来を作り出していききたいものです。 Yuji
- 今回は、京柔整会報137号の校正と同時期に京都府柔道整復師会ホームページのリニューアル作業を広報部が担当しました。広報部といたしましては、真摯に取り組みさせていただき満足の仕上がりで自負しております。大変見やすくなったホームページをご確認して頂き、ご活用ください。http://kyojusei.com/ 広報活動・ホームページに、皆様のご意見とご協力を宜しくお願いたします。 ☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 11月27日

京柔整会報 機関誌 137号

平成 27 年 10 月 20 日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦
編集責任者 広報部 中川 稔貴
発行所 京都市東山区大和大路五条下ル東入芳野町79の2
☎ 京都 (075) 541-4500
(広報部)
印刷所 奥原印刷紙行
京都市西京区松室北河原町25
TEL. (075) 381-5611
FAX. (075) 392-0111

学大集因烈国合即

